

岐阜市林道施設長寿命化計画（個別施設計画）

1. 基本的事項

岐阜市における林道施設は林道橋 5 橋であり、5 橋中 4 橋は建設から 40 年以上が経過している現状である。一方で、間伐による森林整備を促進し災害に強い森林づくりを進めるため、継続的かつ安全に林道を利用することが課題となっている。

林道施設の現状を個別に把握するとともに、現状を踏まえた施設毎の維持管理・更新等を実施する持続可能なメンテナンスサイクルを構築する事によって、林道施設維持管理費用の縮減及び平準化を図りながら、林道施設が将来にわたって求められる機能を適切に発揮し続ける事が重要である。

本計画においては「予防保全型維持管理」の考え方を導入し、林道施設の長寿命化を図るために必要な措置を適切に実施することとする。

2. 対象施設

本計画の対象とする施設は別紙のとおりである。

3. 計画期間

本計画における施設ごとの計画期間は別紙のとおりである。

4. 施設の優先度

本計画における施設ごとの優先度は別紙のとおりである。

5. 施設の状態等

本計画の策定に当たって実施した点検・診断により把握された（または本計画の策定時点で把握されている）施設ごとの状態については別紙のとおりである。

6. 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の状態等」を踏まえ、施設ごとに講じる対策の内容及び実施の時期について別紙のとおり計画する。

7. 対策費用

個別施設ごとの対策費用の概算については別紙のとおりである。なお、この金額は計画策定時点における概算であり、工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。

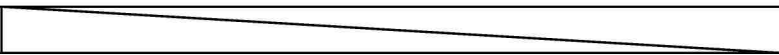
個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号番号	24	施設管理者	岐阜市
路線名	林道城田寺線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第1号橋
施設の所在地	岐阜市城田寺	起点からの距離	1.4km	建設年度	2008
供用年数	10	種別	PC橋	型式	PCスラブ
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	－

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.4m		幅員(車道幅員)	7.3m(6.1m)	
	施設の構造等	上部工型式	PCスラブ桁(中空床版、プレテン方式)				
			鋼製(使用鋼材)	—		塗装使用の有無	—
			支承形式	固定		落橋防止の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台			基礎形式	直接基礎
	橋脚工型式	—			海岸からの距離	—	
施設の目的利用実態等	林道城田寺線は一定要件林道であり、地域の路網を形成しているため、森林施業以外にも地域住民の利用が見られる。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年3月28日					
	調査結果	補修すべき損傷は確認できない。					
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じていない状態。				
	劣化原因						
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和10年度					
	内容						
	実施予定時期						
	施設の優先度	小	(優先度の考え方) 損傷軽微のため。				
	対策費用(概算)						
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用 (百万円)										
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備 考

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号番号	3	施設管理者	岐阜市
路線名	林道三田洞線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第1号橋
施設の所在地	岐阜市三田洞	起点からの距離	0.6km	建設年度	1959
供用年数	59	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	－

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.4m		幅員(車道幅員)	4.5m(4.0m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC床版						
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	—			
			支承形式	—	落橋防止の有無	無			
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎			
		橋脚工型式	—		海岸からの距離	—			
	施設の目的利用実態等	林道三田洞線は、ながら川ふれあいの森の管理道と接続しており、施設管理車両等の通行が主となっている。また、散策路として多くの一般歩行者にも利用されている。							
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年1月31日							
	調査結果	床版下面排水管周りに小規模なコンクリートの剥離が確認されたが、構造物の機能に支障は生じていない。							
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じていない状態。						
	劣化原因								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和10年度							
	内容								
	実施予定時期								
	施設の優先度	小	(優先度の考え方) 損傷軽微のため。						
	対策費用(概算)								
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。							

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用 (百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考

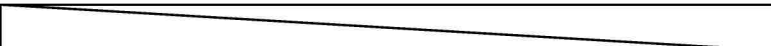
個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号番号	3	施設管理者	岐阜市
路線名	林道三田洞線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第2号橋
施設の所在地	岐阜市三田洞	起点からの距離	0.8km	建設年度	1960
供用年数	58	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	－

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6m		幅員(車道幅員)	4.5m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	—
			支承形式	—	落橋防止の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
		橋脚工型式	—		海岸からの距離	—
	施設の目的利用実態等	林道三田洞線は、ながら川ふれあいの森の管理道と接続しており、施設管理車両等の通行が主となっている。また、散策路として多くの一般歩行者にも利用されている。				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年1月31日				
	調査結果	床版と橋台の接続部において、橋台に軽微なクラックを確認したが、構造物の機能に支障は生じていない。				
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和10年度				
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度	小	(優先度の考え方) 損傷軽微のため。			
	対策費用(概算)					
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用 (百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	岐阜市
路線名	林道志段見線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第2号橋
施設の所在地	岐阜市長良志段見	起点からの距離	1.1km	建設年度	1967
供用年数	51	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	－

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m		幅員(車道幅員)	4.2m(3.9m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	—
		支承形式	—	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	—		基礎形式	直接基礎
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	—	
施設の目的利用実態等	林道志段見線は、登山や野鳥観察を目的として多くの利用者に利用されているが、第2号橋より手前で駐車する利用が多いため、当該施設の通行は少ない。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年1月31日				
	調査結果	高覧の錆びを確認。 予防保全の観点から補修を実施することが望ましい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和10年度				
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度	小	(優先度の考え方) 損傷軽微のため。			
	対策費用(概算)					
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用 (百万円)	0.5									
対策の内容・実施時期	補修				定期点検					定期点検

備 考

個別施設整理番号	5	林道台帳索引番号番号	20	施設管理者	岐阜市
路線名	林道一之洞線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第1号橋
施設の所在地	岐阜市長良古津	起点からの距離	0.1km	建設年度	1976
供用年数	42	種別	ボックスカルバート	型式	ボックスカルバート
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	－

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.2m		幅員(車道幅員)	6.0m(4.4m)	
	施設の構造等	上部工型式	ボックスカルバート				
			鋼製(使用鋼材)	—		塗装使用の有無	—
		支承形式	—		落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	—		基礎形式	直接基礎	
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	—		
施設の目的利用実態等	専ら森林施業のための利用が中心である。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年1月31日					
	調査結果	ボックス上部下面に小規模な断面欠損、鉄筋の露出が確認されたが、構造物の機能に支障は生じていない。					
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じていない状態。				
	劣化原因						
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和10年度					
	内容						
	実施予定時期						
	施設の優先度	小	(優先度の考え方) 損傷軽微のため。				
	対策費用(概算)						
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用 (百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考